

わたづ便り 第4号

「わたづコミュニティ協議会」発行 平成29年11月
江津市渡津町 658 - 1 TEL&FAX ; 0855 - 52 - 2569

渡津の人口/世帯数 (11月末日現在)
()内は9月末日との比較)
人口 : 1856人 (-3)
男 : 875人 (-2)
女 : 981人 (-1)
世帯数 : 896戸 (-3)

部活動の報告



10月30日環境整備部会(永元部長)が開催され、1)29年度ホタル再生事業の取組結果、2)30年度の取り組み計画案について話し合いました。1)はホタル養殖池が完成したこと、2)は養殖池の水質・温度管理、カワニナとホタルの放流、観賞会開催などが話し合われました。また、繁殖が見

られる嘉戸川の環境とホタルの保護、養殖池への移転などが来年度の活動として認められました。水が循環する養殖池は嘉戸川の雑草・土壌を移植し再現されていますが、時々水道水を入れる問題をどう解決するかが課題です。嘉戸川以外にも季節になるとホタルが多く湧く場所を探したり、ホタル再生事業に取り組む他のコミュニティとの交流も検討することになりました。皆さん、ホタルの湧く場所あれば教えて下さいね。

10月・11月の活動実績

1) こども広場 「お月見」

10月5日(木)お月見の行事として、きな粉餅とみたらし団子を作りおいしく食べました。頂く前に、センター長さんから月と地球のお話を聞きました。月から地球を見た写真を見ながら、地球から月まで行くのに、歩く(4km/時)と11年、車(60km/時)だと268日、新幹線(のぞみ300km/時)だと53日、ジェット機(1000km/時)だと16日、ロケット(アポロ3.6万km/時)だと3日、光だと1秒、かかるなどのお話がありました。「ちょっと月旅行に行ってきます」と言える時代はもうすぐそこ?



月から見た青い「地球の出」



秋の収穫・お団子・すすき



団子美味しかったね

2) 小川和洋さん表彰される



10月9日(月) 体育の日、山下市長、小笠原教育長ほか
が出席され多目的広場で開催された「2017 市民スポーツ
フェスタ」にて市体育協会より小川和洋さんが功労賞を
授与されました。小川さんは渡津地区体育協会の役員を
長年務め平成25年からは会長として地区の体育活動の発
展に貢献されたことが高く評価されました。また、この4
月からは「わたづコミュニティ協議会」の体育部長として
地区民体育大会のみならず「わたづまつり」(文化祭)や
「敬老会」にも積極的に参加・貢献されています。左は市
体育協会桑原会長より賞状を授与される小川さん。

3) 清和養護学校「ふれあい農園」

10月17日(火) 毎年恒例の6月に植えたサツマイモを収穫する「ふれあい農園」が
開催されました。収穫に先立ちボランティアの皆さんは各クラスに分かれ生徒さんと
一緒にゲームを楽しみました。そして、大きく成長した芋を掘りました。今年は例年になく
豊作でした。収穫の一部はプリンに、一部はボランティアの皆さんが頂きました。



まずは生徒さんにご対面



大きいお芋出てくるかな



今年は豊作でした

4) 健康教室

10月24日(火) 渡津健康づくり推進会、慶老者教室、地区食生活改善推進協議会の共催で
健康教室がコミュニティ・センターで開催された。保健師さん、栄養士さんの健康な食生活
の話があり、血圧測定と健康相談の後、皆さんで食改さん手作りの健康食を頂きました。



健康な食生活の話



皆さんと美味しく頂きました



健康な食生活の一例 (おにぎらず)

5) わたづまつり (文化祭)

11月11、12日恒例の文化祭がコミュニティ・センターで開催されました。午前9時半オープニングで「ドジョウ掬い」と「銭太鼓」が披露される一方、河川敷ではグランド・ゴルフ大会が始まった。今年は4月に協議会が発足しセンターでの営利事業が可能になったことから、従来の出店に加え焼き芋、地元産のピーナッツ、干し柿、大和シジミ、などが新たに店頭並びました。また、展示品も従来の渡津の皆さんの作品に加え、県知事表彰を受けた竹島の掲載された江戸時代の古地図、山下清画伯のちぎり絵、宮本武蔵筆の墨絵なども展示されました。毎年展示作品数が減少しています。来年は皆さんの手作りの作品に加えて、家にある古文書、古い写真、骨董等ご自慢の品も展示下さい。



西谷さん熱演



銭太鼓愛好会の皆さん



G. ゴルフの優勝は宮内さん



新規の大和シジミの販売



恒例の連合自治会焼き鳥完売



新規塩田産煎りピーナッツ完売



嘉戸婦人会のフリマ



郷土の偉人青木秀清を偲んで芋粥



健全育成会のお餅美味しかった



清和養護学校生徒さんの力作



渡津小生徒さんの傑作



墨絵は渡津を代表する芸術

6) 渡津小「褒め表彰」

11月18日(土)学習発表会で教育・教養部(川本部長)主催で6年生全員(14名)を対象にそれぞれの良いところにスポットを当て、一人一人の表彰と記念品の授与式がありました。表彰の後、センター長さんより「人はみな良い(得意な)ところとあまり良くない(不得意な)ところを持っています。あまり良くないところは片目を閉じて、良いところは両目を大きく開いてお互いを観ると、学校が明るくなり元気が出てきます。勉強やスポーツができるなどはすぐ分かりますが、例えば困っている人や低学年の人に優しくできるとか、人の話をよく聞くとか、ものごとを深く考えるなどは分かりにくい。こうした分かりにくいことは特に目を大きく見開いて発見し、いいよと言ってあげましょう。」との話がありました。

12月・1月の主要活動予定

- 1) 12月12日(火) 慶老者教室
- 2) 12月14日(木) こども広場(クリスマス会)
- 3) 12月16日(土) サタデースクール(2学期最終回)

香典返しのお礼

藤田 宏之 様(故 藤田 重光 様)

ご厚志を頂きました。謹んでご冥福をお祈りし、厚く御礼申し上げます。

編集後記

「わたづまつり」も皆様のご協力で無事終了しました。今年は焼き芋、干し柿、ピーナッツ、シジミなどの新規の出店もありました。これは今年度から市内20ヶ所のコミュニティ・センターがそろって行う地域振興活動の一環です。この地域振興のための経費として市から10年間で総額1000万円、単年度で300万円を上限として交付金を受けることができます。この事業経費は、継続可能な地域づくりを渡津地区が主体的に取り組むための仕組みを造るために交付されるもので、今まで地域で行われてきた事業を将来にわたって継続可能な形に変え、再度事業趣旨を検討することで、場合によっては形を変えることも考えながら、地域の特徴を生かした地域振興のための財源です。今回の交付金を使って事業を実践しながら試行錯誤することも可能です。例えば渡津地区の皆さん数人が集まって遊休地を利用して農作物など作り販売することもできます。そのためセンターで定期的朝市を開催し、取れすぎた野菜・果物や海産物、雑貨とともに販売することも可能です。地域の皆さんの様々なご提案や情報を頂きたいと思いますので、お気軽に交流センターへお越し下さい。